

誰もが自分らしく ～LGBTQについて～

日本におけるLGBTQの割合は「左利きの人とほぼ同じ割合」(11%)。LGBTQはセクシュアル・マイノリティとされていますが、左利きの方と同じくらいいるのであれば、とても身近な存在と言えるでしょう。

また、アセクシュアルといわれる、他者に対して恋愛感情や性的欲求を抱かない、もしくは抱くことが少ない方もいます。

セクシャリティ(性のありかた)って何?

LGBTQとは「からだの性」と「こころの性」が一致しない人、性的指向が異性ではなく「同性や両性」の人などのことを指します。

「性」と聞かれると、男性と女性の2種類を思い浮かべる人も多いと思います。ここでは「性のありかた」について考えてみます。

私たちの性は、「①こころの性(性自認) ②からだの性 ③好きになる性(性的指向) ④表現する性」の4つの組み合わせで考えることができます。



一人ひとりの生き方を尊重しましょう

越生町男女共同参画情報紙 ハンドアンドハンド 第39号

性のあり方は多様です

人の性は「からだの性」、「こころの性」、「好きになる性」、「表現する性」の組み合わせです。これらは男女の2種類にはつきり分けられるものではなく、多様に組み合わせられます。「こころの性」や「好きになる性」は性的な趣味や子の問題ではなく、自分の意思で選択できるものではありません。考え方や好み、幸せの感じ方が一人ひとり違うのは当たり前の事。「人と違う」とは悪いことじゃない、「そのままの自分でいい」…。性のあり方は人それぞれであり、全ての人に関係することです。多様な性について知り、一人ひとりのありのままの生き方を認め合える社会にしていきたいでしょう。

日本人の約11人にひとり

「恋愛・結婚は異性とするもの」、「性別の区別は男女だけ」という価値観が多数を占める社会では、その価値観にそぐわないLGBTQの人達が、暮らしの様々な面で生きにくさを感じています。同性を好きなことで、かわられる、女性の恰好をしたら「男なのに」といじめられる・そして自分がおかしいと悩み、誰にも相談できずに追い詰められてしまう。拒否されたり、好奇の目で見られることを恐れて、自分がセクシュアル・マイノリティ(性的少数者)であることを隠して生きていくしかない人が多いのです。

こころの性(性自認)

自分が実感している性別、生きていく性別のこと。男性・女性とはっきり実感する人もいれば、男性女性両方、男性女性の間、どちらでもないと感じる人もいます。

からだの性

生まれつきの性のこと。男性の体にも女性の体にもいろいろな形があります。

好きになる性(性的指向)

恋愛対象とする性別のこと。男性・女性とはっきり思う人もいれば、男性女性の両方、もともと性的欲求や恋愛感情を持たないという人もいます。

表現する性

髪型や服装、言動などで表現したい性別のこと。

出典：埼玉県教育委員会